令和6年4月

結城市教育委員会定例会議事録

結城市教育委員会

令和6年4月結城市教育委員会定例会

- 日 時 令和6年4月24日（水曜日）
- 場 所 結城市役所 大会議室2
- 出席委員 黒田光浩教育長
田中昌希委員（教育長職務代理者）
中村義明委員
岩崎勤委員
赤木信之委員
- 教育委員会事務局
教育部長 大木博
学校教育課長 福井恵一、給食センター所長 野村精二、
指導課長 湯本勝洋、生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長 小森谷信幸、
スポーツ振興課長 仁見 剛、
学校教育課課長補佐兼小学校新設推進係長 和泉田真
学校教育課学務係長 山口 明良

1 付議案件

- (1) 議案第1号 結城市奨学生選考審議会委員の委嘱について <非公開>
- (2) 議案第2号 結城市結核対策委員会委員の委嘱について <非公開>
- (3) 議案第3号 ゆうき図書館協議会委員の委嘱について<非公開>
- (4) 議案第4号 結城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について <非公開>

2 報告事項

- (1) 報告第1号 教育長報告について
- (2) 報告第2号 教育委員会の概要について
- (3) 報告第3号 結城南中学校区新設小学校建設基本設計について

学校教育課長 本日配付させていただいている資料ですが、令和6年4月結城市教育委員会定例会、こちらはクリップ止めさせていただいた事前にお配りさせていただいた資料でございます。資料のほうよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

続きまして、本日傍聴の方はいらっしゃいませんので、ご報告させていただきます。

それでは、黒田教育長より開会宣言をお願いいたします。

教育長 昨日に引き続き本当にありがとうございます。これからやはりもうちょっと慎重に検討して効率よく会議のほう開かれればと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

では、本日の出席委員は4名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年4月教育委員会定例会を開会いたします。

議事に入る前に定例会の議事録署名人を指名いたします。岩崎委員をお願いします。よろしくをお願いします。

それでは、これより議案の審議に入ります。

本日の議案は4件です。

第1号議案から第4号議案は、人事案件でございますので、非公開にしたいと考えております。ご賛同いただける方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

教育長 ありがとうございます。

挙手全員。

よって、議案第1号から議案第4号の4議案は非公開といたします。

◎議案第1号 結城市奨学生選考審議会委員の委嘱について<非公開>

<非公開部分削除>

教育長 議案第1号についてお諮りいたします。

議案第1号について原案のとおり決定することに賛成の委員の方は挙手願います。

(賛成者挙手)

教育長 ありがとうございます。

挙手満場。

それでは、議案第1号については、原案のとおり決定させていただきます。

◎議案第2号 結城市結核対策委員会委員の委嘱について<非公開>

<非公開部分削除>

教育長 議案第2号についてお諮りいたします。

議案第2号について原案のとおり決定することに賛成の委員の方は挙手願います。

(賛成者挙手)
教育長 ありがとうございます。
挙手満場。
それでは、議案第2号については、原案のとおり決定いたします。ありがとうございます。

◎議案第3号 ゆうき図書館協議会委員の委嘱について<非公開>

<非公開部分削除>

教育長 議案第3号についてお諮りいたします。
議案第3号について原案のとおり決定することに賛成の委員の方は挙手願います。

(賛成者挙手)
教育長 ありがとうございます。
挙手満場。
それでは、議案第3号については、原案のとおり決定いたします。ありがとうございます。

◎議案第4号 結城市スポーツ推進審議会委員の委嘱について<非公開>

<非公開部分削除>

教育長 議案第4号についてお諮りいたします。
議案第4号について、原案のとおり決定することに賛成の委員の方は挙手願います。

(賛成者挙手)
教育長 ありがとうございます。
挙手満場。
それでは、議案第4号については、原案のとおり決定いたします。ありがとうございます。

◎報告第1号 教育長報告について

教育長 続きまして、報告事項となります。
報告第1号 教育長報告について私から報告いたします。
9ページをご覧ください。
報告第1号 教育長報告について。
上記のことについて、別記のとおり報告する。
令和6年4月24日提出、結城市教育委員会教育長、黒田光浩。
10ページをご覧ください。
10ページのレジュメの中で一番下から説明させていただきます。
参考のところでも参考の2番です。管内教育長会議が4月17日水曜日に筑西合同庁舎でありました。その資料が次のページにあるカラー刷

りでとじてあるものですので、そちら後でご覧になっていただければと思います。

参考の1番について、茨城県市町村教育長協議会総会が4月9日、水戸レイクビューで行われました。それで現在の各茨城県の市町村の教育長の名簿が先ほどの筑西地区の管内の教育長会議の後ろにずらっと載っておりますので、表面が都市教育長会議、市とか全国で言うと東京の23区とか政令指定都市、そちら全部都市教育長会議ということで表になっているのが都市教育長会議の教育長で、裏面が今度は町や村、これは町村教育長会議ということで、一応県の中でも市と町村では別の組織ということで、一つに合わせて茨城県の市町村教育長会議というふうに構成されているということです。裏側が町村の教育長さんです。

その下に4月16日付で県の教育長が代わりましたので、そちらのほうに載せさせていただきました。県の今までの森作教育長が4月15日に退任しまして、新しい県の教育長が柳橋教育長ということで、就任になっております。これは県西地区の関城出身ということで、下妻一高から東京農業大学行ってそれで高校籍の教員で、そのまま教育部長から教育長になられたという方です。下妻一高から県の教育長というのは2人目みたいです。

その上が丸印とか三角ついてますのは、県の市町村教育長会議の会長さんが日立市の折笠修平教育長が茨城県内の会長ということに今度なりました。丸ついてますのが都市のほうで5人、各地区、県西地区とかそういう地区から1名ずつ副会長ということで入っています。県西地区の副会長は下妻市の中山教育長になっております。

裏側も茨城町の矢口教育長が町村教育長会議の会長ということで、お二人、境町の忍田教育長と利根町の海老澤教育長さんが副会長というふうになっております。三角印は監事という皿監事になっております。

県西地区のほうで新しく教育長さんになったのがもうご存じだと思うんですけども、坂東市の倉持美由紀教育長さんが新しくなっております。今までの倉持利之教育長さんから倉持美由紀先生になったということです。そちらのほうまず参考のほうでご報告させていただきます。

ついでにいっちゃいますと、参考の3番は、教員採用試験、5月12日にやりますが、結城市の校長会のほうでも勉強会、4月17日から既に実施しております、今日で2回目になるということです。3回実施して現在10人受験者が勉強しております。頑張ってくださいと思います。

以上、参考のほう先説明させていただきました。

レジュメの一番上のほうご覧ください。

まず、結城市の学校教育について、今年度校長会でもこれ同じようなことをお話しさせていただきました。

基本目標、基本施策、そして、共通確認事項ということで、「凡事徹底」ということで、書かせていただきました。

その下の1番からです。1番、令和6年度の小中学校の入学生について、

4月1日現在、多少1人か2人ちょっと違っているかもしれないですけども、一応こういう形になっております。大体三角印というのは昨年度からマイナスということになっています。後でご覧になっていただければと思います。

2番です。年度初めの学校経営・運営ということで、とにかく健康第一ということで、これは健康というのは身体的よりもメンタル面も含めて健康第一ということで、お話をさせていただいております。

コメ印です。管理職の異動についてはもう既に委員の皆様には3月中にご報告させていただきましたが、校長の異動というのが12分の5代わっております。副校長・教頭のほうで15分の5、5人代わっております。教務主任は12分の7代わっております。

(1)番です。校長のリーダーシップということで書かせていただきました。これは昨日の三者合同研修会でも言ったんですけども、今年度から正式に校長を辞めた人がそのまま教諭で残るとというのが今年からスタートしております。それが去年60で校長で辞めて、教頭で辞めた人は1年間退職が延長になって正式な定年退職になるんですけども、そのだんだんやがては65まで、60で校長、教頭を辞めて65までこれは教諭で仕えなければいけない、どこかの学校で働かなければいけないということで、当然校長、教頭よりも年上の校長、教頭経験者がいるというそういう形になります。今までも年上というのは再任用とか講師というのは校長、教頭よりも当然年上の方いらっしゃるんですけども、そのときにやはりもう間違っちゃいけないのは、あくまでも学校を運営していく中心というのは、校長や教頭ということをそれを勘違いしちゃってどうも年上の先生が講師とか再任用の先生が校長に対して教頭に対して威圧的になるような事例も実際に報告されているんです。そういうことはもう絶対許されないものだということを改めて教育委員会のほうから私のほうから再度徹底したいと思います。今年だからやはり言わなければいけないことなので、ベテランの対応ということで、残念ながら60過ぎると昨日も言ったんですけども、笑顔がなくなるというのが本当に無表情だということも現場の校長らからも聞こえるんです。やはり子供たちのことを考えて、子供たちの前で無表情でいて笑顔も何もない先生が子供たちの前にいたらこれは子供たちの悲劇だと思うんです。ですので、5月1日に教育研究会総会が全部集まって結城小学校でありますので、そのときに私のほうからも再度その辺は徹底して、これからの時代のベテランの指導の在り方ということを徹底していければと考えてそういうことを書かせていただきました。食ってかかるとかはないと思うんですけども、そういうこともちょこっと周りからも聞かれていますので、絶対そういうことがないようにしていければと思います。

(2)番、ABC理論に基づいた教職員の育成ということで、一人職への配慮ということもこれも校長会のほうで全部言わせていただいております。

す。ABC理論というのは難しいんだよと言ったんですけれども、当たり前のことをばかにしないでちゃんとやる、それがなかなかできないような感じがしています。十分そちらのほうで徹底していききたいと、校長先生らにはリーダーシップをとっていただければと思います。

(3) 特色を生かしたコミュニティスクールの創造、コミュニティスクールは片仮名で書くと昨日もちよこつと言ったんですけれども、コミュニティ・スクール、これが正式な書き方だそうです。PTAの見直し、コミュニティスクールに全部今年から配置しておりますので、それに伴ってPTA活動というのをもう1回見直していかなければいけないということで、この4月18日にPTA、市P連の役員会がありましたので、そちらの折でも私のほうから言わせていただきました。現在の得能会長も全く同じことを考えているようですので、やはりPTA活動というのはちょっと曲がり角にきているのかなということを感じています。

あとは(4)番として、結城市の特色ある教育ということで、こちらの昨日の発表にもいろいろ出てましたが、ふるさと教育ということで各学校でいろいろと取り組んでいるようです。ぜひそちらのほうを結城市の売りにしていければと考えております。

次に働き方改革です。意識改革、効率化、削減、ただしやらなければならぬ仕事あると私は思っています。やらなければいけないことはやはり絶対に9時、10時になってもそれはやらなければいけない、ただそれが蔓延化しちゃったらこれはもうまずいと思います。どうしてもそのときにやらなければいけないということはあると思います。

勤務時間の把握と指導ということで、45時間超えの勤務者ゼロ、45時間おかげさまで結城市は、小学校も中学校も全部部活動入れても45時間守っていることになっています。インチキは絶対しないでくれと、それで80時間とか100時間やったら裁判の時には大変なことになりますからねということを行っています。それができないんだったらきちんと守るようにしましょうと、できるわけないだろうと言うんだったらその人はほかの市町村に異動してくださいとそういうことです。結城市は今のところ本当に一生懸命頑張ってくれています。

部活動の地域移行ということで、何回もお話ししています。外部指導者の選定ということで、今年度はとにかくもう外部コーチを入れて外部コーチと一緒にやって、来年度からそれを研修受けていただいて運動部指導員に格上げできればなと考えております。どうぞよろしくお願いします。

月曜日です。スポーツ協会の総会があって懇親会があったんですけれども、やはりその話になって、教育委員会のほうで何とかクラブチームとか何か立ち上げ協力してくれないかと、うちはやりません、どうぞやってください。どんどんつくっちゃって結構ですよとそういうことをお話ししています。各クラブで募集すれば、魅力があったらどんどん来ると思います。明野中学校の例を出して明野中学校のバドミントンというのは、もう昔か

ら伝統あるんですけれども、明野中学校の中に3つバドミントン部があるんですよということで、学校のバドミントン部とあとクラブチームが2つある、だから学校の中に3チームの生徒が存在する、全然それでも構わない。静岡市は全部部活動切っちゃうということをはじめているみたいですね。うちもやはりそうやりたいんです。あとはもう地域の方にどうぞお願いしますということで、子供がかわいそうになる、子供かわいそうだったらどこかにクラブチームに入れればいいことであって、それが一番簡単かなと思っています。

学校事故防止・危機管理、服務規律の徹底ということでいっぱい書かせていただきました。これで終わりにしようと思ったら後から後から何だこれという事件、事故があって、教諭が逮捕されたということがあったようです。

就学援助費の余ったお金を返金しないでそのままにしておいた、ずっとそのままにしておいた、着服はないと言うんですけれども、それを怠った校長は減給10分の1というのはかなり厳しいですよ。それをどうやって渡さなかった、結城市は教育実習やっているのでそういうのは大丈夫だと思うんですけれども、そういうことをやられちゃったらずっと置いておいたらやはり防ぐことができないのかななんてちょっと心配になってきました。

施設設備の現状把握と改善ということで、昨日のニュースで三年坂の木が倒れて1人下敷きになったという、あれ遠足で61歳か62歳の先生ですよ。あそこ当然結城市も三年坂は清水寺上がっていくところあそこ上がっていくだろうと、そういう事故に出くわすんだなんていうことでちょっとおっかなくなりました。

不登校対策ということでそちらに書かせていただいております。結城市でも「ゆうの木」の南分室ということで2月からモデルケースとして4月から正式にやっております。いろいろな方にご協力いただいている、特に松浦さんのほうには快くお引き受けいただいております。

こちらにあるんですけれども、これ子供たち、子供第三の居場所誕生ということで、筑西市にできたフリースクールなんです。サドベリースクールということで、こういうのができているんです。湯本先生、簡単にちょっと見学に挨拶に行ってくれてますので。

事務局

先日そのサドベリースクールに結城市の子供たちも今現在2名登校しているということになったので、ご挨拶に行かせていただきました。

場所が下館工業高校があると思うんですけれども、工業高校から踏切渡ってセブンイレブンの向かい側の住所で言うと玉戸なんですけれども、あそこにフリースクールがこの4月から開校になりました。当然フリースクールなので民間が立ち上げたという位置づけなんですけれども、もともと大田小学校で私教頭でやっていたときも保護者の田中先生という、桃山学園で教員やっていた先生が3年越し、4年越しぐらいですか、そういう形

で準備を経てこの4月から開校したんですけれども、平屋の結構広い形の校舎がありまして、そこで私が行ったときは10名ほど登校してました。そこで給食等も実際に自炊で食べて、昼間から行く子供もいれば夕方から預かる子供もいるということで、一応月極め3万円、やはり収入に応じて補助金等も出しているんだという話がありましたが、ゆくゆくそういうフリースクールのほうも今後結城市のほうのうちの生徒も関わりが今よりも多様な形態ということを考えれば、そちらの筑西市のほうの施設もありますし、小山のほうでも多少そういうフリースクール的な形で進めるところもあるので、本市でやっているゆうの木と並行して様々な形で児童生徒が選択して学習の場を、生活の場を見つけていく、そういう形になっていくかなと思いますので、今後またそちらのサドベリースクールとも連携を図りながら進めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

ということで、3万円であとそれプラス放課後の学童保育さん入れると1万円なので4万円、それで半分ぐらいは補助が出るということで、2万か3万ぐらいでできるということです。

湯本課長、これちょっとこれだけちょっとコピーを皆さんに。

そういうのができております。

4番、各種行事については、そちらに5番まで載せさせていただきました。(4)と(5)はまた教育委員の皆さんにもご協力いただくことかなということ、後で事務局からあるかと思しますので、よろしく願いします。

私のほうからは以上です。

ご質問等あればお願いします。

岩崎委員。

岩崎委員

この信頼される学校、いろいろな学校経営の中でも地域とかPTAの関係というところでちょっとお伺いしたいんですが、コロナ禍でいろいろ例えば学校単位で歓送迎会とかそういうことでPTAもしくはその地域の人たちと接点をつくるという今まで行事はあったものの、コロナでそれがなくなった、中止になった、コロナがあれになってそういうのも普通にやってもいいんですよという形になりながら、今度は先生方の勤務時間とかそれからなかなか若い先生方になるとそれは業務として行くんでしょうかどうなんでしょうかとかというそういう話があったりして、なかなかそういう今までのような形でうまく接点をつくってという感じなかなかいかないというようなお話がちょっと聞けるんですが、その辺は教育長として、教育長とか各学校の校長先生とかどういうふうに考えているのかちょっと分かりましたら教えていただきたいんですが。

教育長

もう一言だけです。私はどんどんやっていい、ただし、勤務ですか何ですかというのは学校長判断、教育委員会ではないという、全てそれは学校

長で判断していただきます。どこかでやめなさいということは一言も言いませんので。

岩崎委員

それともう1点、このPTAの新しい形、形態、見直しということでありまして、会議今まではやれ常任委員会とか本部の集まりもそうですけれども、学校が終わった後に集まってということになっていると思うんですが、そうするとまた先生方の勤務時間のいろいろな問題があつてあれだと思ふんですけれども、ここちょっといろいろネットでもいろいろな全国的にどうなっているのかなとちょっと私も調べてみたら、そういう対面が必要ではない会議については、リモートでというふうに工夫したり、いろいろそういうPTAの運営の在り方を見直しているそういう学校があるというふうな記事も出ていたので、市内もそういうふうにもう少し考えて、特にシングルのひとり親の家庭も結構いらっしゃるので、そうするとなかなか子供預けてそういう役員として学校夕方行くというのはなかなか難しいとかという保護者の方もいらっしゃると思うので、もう少しそういうところをいろいろ各学校でも学校もそうですし、各校のPTAの本部の方も工夫されるといいのかなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

教育長

全くそのとおりだと思います。

田中委員、結城南中学校は総会やってないですよ。恐らく全部資料回したり、あるいはデータで配信してそれを見て投票するというふうになっている、ああいいアイデアだなと思います。何も全部で集まるようなこともないと思いますし、そのほかでも役員会でも何でもやはりオンラインでできるんだったら、岩崎委員が言われたようにどんどんやはりそれは取り入れていくべきだと思うんです。

夜な夜なPTAの役員として集まっていてずうっと役員決めだなんてやっているのは全くナンセンスだと私は思っています。なので、少なくとももう今年度は小学校も中学校も授業参観とかPTA総会、南中はやらないんですけれども、どちらも金曜日ですよ。だから今度の金曜日は小学校へ集まる、先週は中学校ということで、今まで土曜日やって振替つかったのになと思ってそれだけでも進歩なのかなと、それで、先生方は夜遅くまで役員会だといったって6時、7時に集まれるようなことは私はやらなくてもいいのかなと思っていますので、やはりそういうふうに岩崎委員が言われているようになっていけばいいなと私は思っています。

岩崎委員

分かりました。ありがとうございます。

教育長

中村委員。

中村委員

2つあるんですけれども、1つは今の教育長説明のほうからの不登校に関して、教育長説明ではこの部分がでてこない。

教育長

こちらにはないんですけれども、小学校が5番で中学校が2番、逆でしたか、トータルすると全国最下位なんです。

中村委員

結城市。

教育長 いや、茨城です。

中村委員 これ茨城。

教育長 茨城県です。結城市はまだその県の中ではいいという。

中村委員 ちょっと小さいからそれでもそんなにいないと。

教育長 そうなんです。

中村委員 私なんかもっと少ないのかなと思ったら意外と多いんだね。それは1点分かりました。

それと、このフリースクールのこれの捉え方なんですけど、これは各市、県、ただ結城市だとすると、例えばこの教育課程の実施ということで考えたときにどのように考えましょうか。それをちょっとお聞きしたいんです。

教育長 教育委員会としては、できれば出席扱いにしたいんです。そのためにはそのフリースクールでどんなことを学ぶのか、学んだ結果どうなのかというのを必ず返してくる、それをお願いしてあります。そうすることによってそれはあくまでも出席扱いですよ。

今までのフリースクールとか自立支援施設というのは、行って学校に戻すことが一番いいというそういう考えだと思うんですけども、そうじゃなくて、そういう居場所があったら居場所から次のステップ、高校でも大学でもそららに行けるような形になればもう全然それは学校に来なくても構わないというそういうような捉え方です。

中村委員 ちょっとそれから発展的になっちゃうんだけど、これもゆくゆくはそういう問題出てくるかもしれないので、ホームスクーラーという考えがありますよね。これは実は私が現役のときにその申出あったんです。こういう当時20年前になるんだけど、こういうフリースクールありました。私は許可もちろんしました。そのとき全体的にそういったもの教育課程の実施の云々、許可云々というのは言われてなかったんだけど、私校長のとき許可したんだけど、それを今度はホームスクーラーとして私はそういうところに出さなくもうちの子供私が面倒見られます。教えられます。そう出てくるんですね。そのときにいや、うーんと、これはどうしても具体的な実施主体が家の親であって、どういうふうな教育保障がなされるかというのが分からなかったんで、それはノーだったんです。これはある程度議論になっていますか。

事務局 結城市でも指導課に勤務しているときにやはり保護者の方、うちの子供は私が面倒見ますということで申出があって、結構それは保護者の方とすごく面談したり何か、あとはどういうふうな学習するのかという計画を立ててもらって、一応その中で途中プロセスも一応提出してもらったりヒアリングしたりしたんですけども、そのときのケースからすると、学力診断テストとか年に何回かやらなくてはならないテストとかありますね。そのテストは受けてくださいということを示させていただいて、国のほうでもタブレットでの学習をやったり、そういう家で学習するということについて年に何回か調査が入るんですけども、それは実際にきちんとある程

度保護者のほうでその教育課程全く同じというわけにはいかないかもしれませんが、そういう形で学習をして、それで認められればそれも許可しますというある程度国のほうの方針もあって、そういうケースが結城市でも何ケースかはありました。

教育長

私も今課長が言ったように、申出があったらそれと面談してそういうことでどんな学習形態をとるのかということで、それはもう積極的に認めていく方向で動きたいと思うんです。家にいてお父さん、お母さんが教えて司法試験受かっちゃうとかそういうのがいろいろ出てくるわけですから、それはもうそれにかけて、全然それは一切いけませんよというのではなくて、その中身によってどんどん受け入れていきたいなという気持ちです。まだ今のところはいないよね。前にはそういうケースがあっただけで、ぜひこれからもあることだと思います。

中村委員

それはどんどん進めていっていただければと思いますよね。私も1回一度県とこういう言い方悪いが、ちょっと県に対して不満を申しあげたことあるんだけど、私非常に教育課程いじくっちゃったので怒られたんですね。でもやはりある程度学校の教育課程の実施でいうと、標準時数云々と言っているの、それをちょっと私あくまでも標準ですよという話で県のほうに申しあげたら、いや標準と言ったらそれでやってくれということで決まりなんだと硬くて話がそれ以上進まなかったんですが、受けましたけれども、でもそういったのをやはり学校が校長さんがもっと柔軟にそれを考えられるぐらいの力量がないと私は校長はだめだと思うんです、これからはなおさら。

だから今教育長が言われたように、これだけ幅の広い方がいるんだから、市内の校長はもっともっと考えて、子供にとってどうあるべきか、何がいいかというのを考えてどんどん自信持ってやったらいいと思うんだよね。

教育長

ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

赤木委員。

赤木委員

大きな2番の中で1つ目の校長のリーダーシップ、今も話題に出ていましたけれども、昨日の学校運営の合同研修会、あれ私教育委員になって校長が直々に発表したというのは初めてだったんです。なかなか気合入っていていいなと聞かせてもらったんですが、やはりああいう場で校長さんの出番ということで取組なんか、あるいはどういう方向で進んでいくんだというのをアピールしていただくのがいいのかなと思いつつ聞かせていただきました。

それと(4)番なんですけど、結城市の特色ある教育への積極的な取組ということなんですけれども、本年度の人事異動でかなり若い先生も入ってきてます。また新規採用の先生方も非常に多いという状況の中で、結城市としての特色ある教育というのはどういうものかというのをこれ教育委員会としてどう新しく来られた先生、若い先生方に伝えていこうとしている

のか、そこらのところ大筋でも結構ですので、ちょっとお聞かせいただければと思うんですけども。

教育長

私が考える結城市の特色というのは、こちらから提示するのではなくて、学校の強みを出してもらいたいと思っているんです。学校の強みを分らないでこちらからおまへのところこうだろうと言っても始まりませんので、大体見えてきていると思うんですね。江川南はもう白菜作りとかそういうのをいろいろあるし、江川北は健康の森とあと香取前遺跡がある、上山川は結城廃寺があって、山川は山川水野家と山川不動尊とアヤメがあるし、絹川小というのはもちろんお蚕さんでそういうのがあって、自分たちでやはりそれは自分の地域というのをそれが私はふるさと学習だと、そのふるさと学習、うちのふるさとにはこういうのがある、これがうちハウチの売りなんだよというのをぜひそれを出してもらいたい、特に結城南中学校区の5つの小学校にはそれを宝として統合されたときに、仮の結城南小学校にそれを全部持ち寄ってそれをいつまでもずっと大切に学習してもらいたいというそういう考えでいます。だから各学校にお任せしたい。

赤木委員

そうすると、例えば学習指導の中でもよく結城スタイルという言葉があるんですね。あれは結城市として統一されたその学習方法、プランということなんですよ。

教育長

結城スタイルというのは、5つの課程を可視化して各学校やるんですけども、この結城スタイルというのはふるさと学習については、各学校によってもうカリキュラムにしている、例えば今教育委員会のほうで杉本校長さんあたりが中心となってふるさと学習のカリキュラムをつくってくれているんですけども、その中で面白いネーミングで未来創造タイムとかいろいろつけていて、この前も持ってきたのをそれではつまらないと突っ返したんですけども、探究活動というものをやはり売りにしていきたい、だからそれでいろいろ違って例えば午後、私は5時間目、6時間目全部探究活動にしちゃっても構わないと思っているので、そういうのでぜひ同じような時数をとってやればなと今のところ考えています。

赤木委員

はい、分かりました。

教育長

田中委員、何かありますか。

田中委員

4点ほど聞きたいことがあって、まず1点目は、今回定年が61歳になって、でも校長先生だった、でも60歳までやるという方は教諭になっていくということで、素人から見て実際校長先生だった方が教員に、結城市ではそういった方は今回はいらっしやなかったんですよ。そういう教諭の先生になってやるという校長先生からもやりにくいだろうなと思って、何かこれってやはりその国のあれなんですか。それでそんなふうにしなさいという、この先も60歳までが役職定年となっちゃうんですか。

教育長

都道府県によって全然違うんですよ。64、65でも校長やっている方はいるんです。

田中委員

都道府県によってなんですよ。

教育長 昨日もお話ししましたが、県西地区で校長辞めて教諭に戻って1年間やるというのはたった3人だと、結城市にはいません。これからでも出てくると思うんですよね。何かやらないとお金もらえないので。

田中委員 でもやはりやりにくいだろうかと、だって普通の会社で社長やっていた方が次から平社員になってという、何か変だなと思うので、ちょっと県のとかほかの県もちょっと見ていきたいなと思います。

あと2点目は、教育長さんのほうから3月31日にこの異動が新聞に載るといふことで、もっと早くできないかというその意図というのは、やはり前もってみんなに知らせたほうがお別れもできるしという意図があつてですか。

教育長 離任式やるのにと、離任式やってもやらなくてもどっちでもいような式になっちゃっているんで、そのほうがお別れするのに早いと思うんです。31日で新聞出てほら大変だなんてなんか保護者の方とか慌てさせるのは失礼かなと思って、だから31日にする意味は合理的な理由というのは全く感じられない、ただそれだけなんです。

田中委員 私も今回31日が金曜日で、土日となっちゃったから31日にもう本当みんな知らない子は、新聞見た子は先生異動しちゃうんだと思って、でももう金曜日でその日学校行けたらお別れできるけれども、でも行けない方も土日休みで3日からもう先生がいない、お別れできなくてなんかやはり子供がお世話になってありがとうと先生に感謝したくなると思うんですよね。してお互いなんかそれって人間として大事な機会なんじゃないかなんて思っていて、実際今3番目の子供が市立の保育所に入ってますけれども、保育所では、市立の場合は31日まで先生いて、そのやはり何日か前にメールでお知らせしてくれるんですよね。この先生はもう異動しますとか退職します、そうすれば前もって私たち保護者も子供もお別れの言葉を言える、感謝の気持ちを伝えられるので、ちょっと新聞に記事が今後どうなるか分からないんですが、そういった工夫も各学校のそれも校長先生の判断になっちゃうのかもしれないんですが、そういったちょっと感謝の気持ちを伝える場を提供してもらえようという連絡をしてもらおうとか、ちょっとそういったのも考えていただけるといいのかななんて思いました。

教育長 ただもう言っているところ申し訳ない。3月31日に発表してほしいという意見もあるんですよ。それは29日だと30、31日に保護者の方に来られちゃうから大変だと、今回は30、31日土日だから学校にはいないんですけれども、普通の日だったら当然勤務してからも勤務にならなくなっちゃうんじゃないかと、いろいろな保護者とかなんか皆さんが来て、だから31日のほうがいいという意見もあるんです。

田中委員 難しいですね。何が一番あれなのか、考えていかなきゃならない。そのため離任式と一つあればそのときに一気に感謝の気持ちを伝えられるからいいのかなと思うんですけれども、いろいろなご意見がやはりあるんだな

と感じました。

あと3つ目が部活の地域移行について今後外部指導員の選定とかいろいろやっていかれるということで、実際今部活の顧問されている先生でやはり部活をこのまま部活動がなくなっても教えたいという先生も兼任してそういう先生もできるような形にはなっていくんですか。

教育長
田中委員

それを考えています。

分かりました。

最後に、ゆうの木の南分室というのがもうできて機能されているですか。すみません私、ちょっと分からなくて、どのあたりにできたんですか。

教育長
事務局

湯本課長。

先ほど教育長からあったんですが、2月ぐらいからちょっと試行期間ということで始めて、江川北学区の東光寺さんという大木地区なんですけれども、南中から南に伸びるカーブするところありますね、大木の。江川の北のほうに向かうカーブの途中のところに焼鳥てる美という焼鳥屋さんがあるところまで行かないもつと東側なんですけれども、ちょうどカーブしてすぐのところのでかく看板で東光寺、東に光る寺さんあるんですけれども、そこが以前に教育委員さんやってくださったそのお寺の住職さんが今回場所を提供してくださるということで、特に南中学区の当然今までも南中学校含めた市全体で不登校児童生徒のサポートを考えていたんですけれども、本当に南のほうにもぜひ分室ということで今試行期間を経て4月から開室したところです。

まだまだ4月開設なので2週間、3週間ぐらいしかたっていないので、できてすぐに子供たちがじゃんじゃん行くところまではまだいっていないのが現状で、南中学区の保護者が何人かちょっと相談に来るとか、お試してちょっと見に来るとか、あとは数人は出たり入ったり、火曜日と金曜日に週2日間開室しているんですけれども、そこで来たりしているんですけれども、大体今までの南中学校区の児童生徒の傾向を見ますと、年度始まって大体5月か6月ぐらいに修学旅行とか遠足あるじゃないですか、それまでは何とか楽しいことがあるのもつという言い方も変なんですけれども、そのぐらいまでは結構子供たちそちらが楽しみにしているから学校に行ける傾向あるんですけれども、その楽しい行事が終わったりすると急になかなか学校にという傾向もあるので、その辺もこれから視野に入れて南分室のほうも運営していきたいなというふうに思っています。

当然様々な形で、施設整備なんかもWi-Fi機能なんかもそちらに設備して、実際にタブレットでも学習できる環境も整えておりますし、常駐の指導員のほうも今年から配置していただきましたので、そちらもある程度機能して東光寺さんでやらせていただいて、もし可能であればほかのお寺さんも幾つか、もしそういう各地区ごとに歩いておばあちゃんに行けるとか、お家の人に行けるとか、自転車でいけるとか、そういう環境があると子供たちも行きやすいのかなというところで今進めているところです。

田中委員
教育長

よろしく申し上げます。

ありがとうございます。

ありがとうございました。最初の定例教育委員会なので私のほうがちょっと思いを述べ過ぎて時間が押してしまいました。申し訳ございません。一応ほかにもしあれば後でまた承りますので、とりあえず教育長報告については終了させていただきます。申し訳ございません。

続きまして、報告第2号 教育委員会の概要について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、報告第2号について報告をさせていただきます。

報告第2号 令和6年度教育委員会の概要について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

令和6年4月24日提出、結城市教育委員会教育長、黒田光浩。

それでは、お手元の資料の教育委員会の概要というちょっとつづりになっているものをご覧ください。

こちら例年教育委員会のほうでつくらせていただきまして、こちらの定例会のほうに報告させていただいている資料でございます。

表紙をめくっていただいて1ページをご覧ください。

こちら目次となっておりますが、本書の構成となっております。内容につきましては、昨年度と同様の構成となっております。ですので、詳細につきましては、後ほどお帰りになった際にでもご確認いただければと思いますので、本日はちょっと変更になった点等のちょっとポイントだけ説明をさせていただければと思っております。

それでは、本書の2ページから10ページまで、こちらにつきましては、教育委員会の概要ということで、制度の内容や所管の事務分掌について、そして予算の概要等についてまとめさせていただいたものでございます。こちらは年度更新を行ったところ以外は大きく変わった点はございませんので、説明は割愛させていただきます。

11ページをご覧ください。

ここからが各課の事業概要となります。

11ページからが学校教育課の概要でございます。

11ページの頭に現状と課題としてまとめさせていただき、その下2の基本的な考え方のところについて課の事業の進め方についてまとめさせていただきました。

こちら(2)のところ少し書かせていただいたんですけども、結城南中学校区の新設校、この関係の仕事が近年学校教育課の大きなウエートを占める事業となってきてございます。

12ページをご覧ください。

3番、施策の内容については、例年同様でございます。

その下4、事務事業の内容について簡単に説明させていただきます。

初めに、入学祝品事業ですが、こちら市長の進めます「徹底子育て支援」

の一環として、ランドセルの新入学生への支給、こちらは継続して続けさせていただきます。

その下、小中学校適正配置等推進事業は、今年度につきましては、南中学校区の新設校の関係が中心となってまいりますが、こちらは南中学校区だけに限らず結城市全体の適正配置を検討させていただき事業内容でございます。

3つ目、奨学金貸付事業は、先ほど教育長からもありましたように、市長の力を入れる事業になっておりますので、拡充の方向で進めさせていただきます。

そして、教育振興事業、こちらには教育振興を目的として教育振興大会を開催すると書いてございますが、令和6年度につきましては、教育振興大会自体は開催せず、表彰を違う形で続けていくようなことを今計画してございますので、詳細決まりましたらまたご報告をさせていただきたいと思っております。

13ページに進ませていただきます。

教育指導事務経費の内容につきましては、先ほどもお話がございましたとおり、部活動の地域移行の一つの方法として、外部指導員を頼むための費用などを掲載させていただいております。

その下は例年どおりでございまして、1点すみません、訂正をさせていただきたい部分がございます。社会人TT等配置事業をご覧ください。

こちら学級等にTTとして補助教員を配置すると書いてございます。その下に江川南小学校の複式学級教員を1名配置すると掲載してございますが、4月から江川南小学校の複式学級は解消となっております。昨年度の2年生の数が少なかったために複式学級になっていたんですけれども、1年間のうちにお2人ほど転校生がございまして、人数をクリアいたしましたので、今年度は複式学級はなしということで、代わりに複式学級の先生はTTとして働いていただいておりますので、TTの補助教員が5人、複式学級の先生はゼロ人という形になってございます。訂正させていただきます。

続きまして、14ページをご覧ください。

こちら施設整備関係になります。

まず、小学校の施設整備につきましては、今年度は繰越事業等も含めて、結城小学校の屋外トイレの建屋改修、西小のフェンス改修、城西小体育館LED化等の改修工事を予定しております。

そして、その下、結城南中学校区の新設校の関係では、現在南中のプールや部室・倉庫の解体工事をさせていただいております。これが6月ぐらいには終了となりまして、その後は環境整備としてテニスコートや新たな部室、新たな倉庫、こちらの新設工事のほうに着手させていただきたいと考えてございます。

最後、中学校施設整備でございます。こちらは5年度から繰越も含めま

事務局

して、まず南中学校の校舎の改修、これは大規模改修とまではいかないんですけれども、やはり古くなった配管ですとか、あとは雨漏り対応ですね、また外壁の改修、こういったものを行わせていただく予定でございます。

ざっととなってしまうましたが、学校教育課の説明までは以上でございます。

では、続きまして、15ページのほうをご覧ください。

学校教育課給食センターの概要ということでご説明させていただきます。

1番の現状と課題、4点ほどありますが、1番の食に関する指導の推進ということで、現在子供たちの健康課題の増加ということで、食に関する指導、食育というものの機運が高まってきております。食育ということで、生涯にわたって健全な食生活を実現することが心身の健康増進と豊かな人間形成のために推進しなければならないとされております。

その中で学校給食は、生きた教材として栄養のバランスはもちろん、食文化など食の大切さを学んでいただくとともに、食べ物の生産、流通、調理関係者に絶えず感謝の気持ちを養う役目も担っております。

2点目といたしましては、食材の安全確保と地元食材の利用推進ということです。地産地消ということで安全安心はもちろん、新鮮で安価な野菜等の安定購入ということで整備していく必要があります。また、最近では、有機栽培といいますか、有機農産物を使った給食の要望もございます。

3つ目、学校給食センターの運営管理の充実ということで、給食センターも建設してから15年以上17年目を迎えます。電化製品を使っておりまして当然施設の老朽化がありまして、今後電気設備も計画的な修繕が必要となっております。

また、調理委託、配送委託は民間に委託しておりますが、その民間業者に関しましても安全管理の徹底、指導を図ることが重要となっております。

4つ目としまして、給食費未納金対策でございます。令和4年度から給食費の公会計によりまして、給食センターに給食費を直接納入することになりました。そして、未納金が生じないように口座振替についての周知徹底及び訪問等も早急に行いまして、初期対応に努めております。

2番目、基本的な考え方でございますが、食に関する指導につきましては、学校給食は栄養バランスの充実はもとより、地産地消や行事食の実施等魅力ある学校給食を提供することに努めてまいります。

また、給食時の指導資料の提供や栄養教諭を中心とした「食に関する指導」の充実を図っております。

次のページをご覧ください。

(2) 給食食材の安全性確保と地元食材の利用促進としましては、こちらにつきましては、学校給食や衛生管理の基準によりまして、衛生と安全の確保を最優先とし、食材の安全性の確保の努力と結城市産、そして茨城県産の野菜等食材の安定確保に努めます。

3番目の学校給食センターの運営管理の充実としましては、給食センタ

一の調理能力を十分に活用した効率的な給食調理を実施します。また、運営につきましては、調理、配送は民間委託でございますが、献立の作成、給食物資購入、施設の管理は市が直接運営することで、衛生管理の万全を期しまして安全安定供給を図るとともに、経費削減に努めてまいりたいと思います。

4番目、給食費の未納金対策でございますが、こちらにつきましては、結城市学校給食費滞納整理等事務処理要項に従いまして、督促・催告書の発送、納付相談等によりまして、未納者への納付勧奨を行い、未納金の早期圧縮に努めたいと考えております。

施策の内容でございますが、地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくりとしまして、食育の推進、そして安心して学べる学校づくりの推進を施策としまして、学校給食の安全安心、安定供給を推進してまいりたいと思います。

4番目、事務事業の内容でございますが、学校給食センター運営管理事業としまして、主な事業でございますが、調理委託と配送委託の民間委託で、食品検査の充実、そして、給食用食器・備品等の更新、施設・設備の修繕及び更新で、給食を生かした食育の推進ということで、挙げてございます。

以上、今年度の事業ということでございます。

事務局

続きまして、指導課の概要のほう説明させていただきます。

資料17ページをご覧ください。

17ページの2番に結城市の教育の基本目標、基本施策があります。それを受けまして、先ほど教育長からもあったんですけれども、教育長の思いとして「凡事」といって当たり前なのが当たり前でできる、当たり前以上にできる、そういう集団であってほしい、その中で学力の保障、安全の保障、これを2つの柱として本年度進めていきたいというふうに考えています。

続きまして、本年度特に推進したいと取組について幾つか説明させていただきます。

まず、2の(1)の一人一人の豊かな学びの実現に向けた教育の推進といたしましては、先ほど赤木委員さんからも説明あったように、結城市は結城スタイルという授業スタイルがありますので、そのそのスタイルを計画的に進めていく。

それに伴いまして、②番なんですけれども、豊かな心を育み、教育の推進、2つ目の丸で道徳科を要として教育活動全体を通した道徳教育の充実ということで、道徳に関しても結城スタイル、ある程度授業の形を構築して、今年度、昨年度そういうチームをつくって進めましたので、今年度その道徳についても結城の新たな形というか、誰、どんな若い先生でもベテランの先生でもこの形で進めようということで、今年度実施したいと考えています。

3番です。健やかな体を育む教育の推進については、黒ポチの3つ目です。外部機関や部活動指導員を連携とした部活動改革の推進ということで、部活動地域移行の流れが早まっております。その中で、当然学校と教育委員会との連携、スポーツ振興課と連携して、他課との連携なのですが、まず学校との連携を深めて部活動改革のほうを進めていきたいと思えます。

続きまして、(2)番、自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進については、昨今特別支援教育の重要性が高まっています。どの学校においても特別に配慮が必要な児童生徒がいる学校、それが特別支援の先生方ではなくて、全職員で特別に配慮を要する児童を支援していく、そういう体制をつくっていく上で、今年度結城特別支援学校との連携、強化を進めていきたいということで考えているところです。

3番目です。創意工夫を生かした特色ある教育活動の推進については、②番です。外国語活動と英語科の充実ということで、その1つ目の丸なんですけれども、9年間の一貫した英語教育ということで、小中をつなぐCAN-DOリスト及び英語パスポートの活用ということで書かせていただいたんですが、やはり英語活動、外国語活動については、これから全ての児童生徒において必要な資質になってくると思われまいます。それで、今現在のところやはり学年ごとに英語の学習は進めているんですが、その一人一人の児童生徒がどこまで英語について分かっているのかというのを一人一人を把握してきた上で支援しなければならないということで、今回CAN-DOリストということと英語パスポート、この子供についてはここまで英語できてますよというのを確実に確認しながら英語活動を進めていきたいということで考えているところでございます。

次に、3つ目の日常的に英語に触れる機会、次のページなんですけれども、英語のシャワー、朝の登校時も含めた、あと昼休みその英語に、とにかく英語の音楽であったり、英語について触れる、当然ALTの先生であったり英語の特別支援の支援員の先生であったりとかも必要だと思うんですけれども、そういう英語づけにするそういうときがあってもいいのかなということで進めているところでございます。

続きまして、③番です。ICTプログラミング教育の推進ということで、今年度新たにICT教育コーディネーター、この3月まで絹川小学校の校長先生であります田村俊之先生のほうにICT教育コーディネーターということで、指導課のほうに入らせていただいておりますので、特にプログラミング教育については、結城市の売りにして、いつも教育長から叱咤激励いただいたんですが、そのプログラミングであったり、ICTのコンテストに全部結城市の子供が賞をもらっちゃうようなそういう環境をつくっていかうということで、今進めているところでございます。

続きまして、安心して学べる環境の保障ということで、先ほど話しありました。二重丸の下から2つ目です。フレンドゆうの木及び南教室、SSW、SCとの連携ということで、今年度4月より東光寺を使わせていただ

いて南分室を開設したところでございます。

これなぜ東光寺さんかといいますと、結城市お寺がいっぱいあります。このお寺の施設を有効的に使わせていただくと、すみません、私が命名したんですけれども、寺子屋大作戦ということで、これからほかの地区にもそのお寺を利用してそういう不登校児童生徒の支援できるようなスペースをつくっていくということで、これはできれば結城市の売りとして進めていきたいというふうに考えているところでございます。

施策の内容については、ご覧ください。

以上で指導課の説明を終わりにします。よろしく申し上げます。

それでは続きまして、生涯学習課のほうから説明させていただきたいと思っております。

22ページからご覧ください。

現状と課題、基本的な考え方等につきましては、昨年同様行っていきたいと考えております。

次ページの23ページの施策の内容につきましても、昨年同様事業のほうを行っていきたいと考えております。

次ページの24ページからが事務事業になります。

昨年と比較しましてほぼ同じ内容ですが、何点かピックアップして説明させていただきたいと思っております。

24ページのまず一番上のはたちのつどい開催事業につきましては、毎年アクロスのほうで開催行っているんですけれども、ちょうど年明けの今年度は7年の1月11日土曜日を予定しておりまして、その期間ですとアクロスのほうはその日程は改修中ということになりますので、鹿窪体育館を現在のところ予定しております。

続きまして、下から2番目の人権教育推進事業の①の人権講演会の開催ですが、こちらは例年教育振興大会と人権講演会を一緒に開催しておりましたが、今年度から人権講演会の単独開催という形になりまして、今年度は8月19日月曜日、講師の方がみえ人権の松村智広先生をお呼びして開催をする予定でございます。

続きまして、25ページをご覧ください。

⑤番の友好都市交流事業につきまして、例年大体7月の結城市での交流につきましては、夏休み入ってすぐぐらいたったんですけれども、ちょうど金曜日がまだ夏休み前ということですので、1週ずれるような形で7月の最後の金土日が結城市交流という形になりまして、8月の福井での交流がお盆過ぎの23日の金曜日から8月25日までという形になります。

続きまして、スクールサポート事業、こちらは白鷗大の学生を希望する小中学校のほうに派遣しまして、教員のサポートをする事業ですが、本日4時から白鷗大のほうで来てくださいというスピーチを社会教育主事のほうで行う予定ですので、来ていただければそれだけゆうの木のほうに回せると考えております。

次の一番下の市民情報センター・ゆうき図書館につきましては、本年20周年、建設から20周年ということで、特別に20周年の事業を行って行く形になります。新川和江さんの詩碑のほうを今年度計画しまして、来年度建立というような計画で進んでいくような形の事業もこの中に含まれております。

次のページ、文化財関係の保護事業等につきましては、ほぼ例年どおり発掘等を同じように行っていく予定であります。

一番下の改修、文化センターの改修工事につきましては、こちらは昨年不調になりまして改修ができませんでしたので、今年また改めて改修工事ということで事業を進めていきたいと考えております。

それで一応予定のほうがあクロスの予定が今年の12月1日から令和8年3月31日までが閉館期間という形で考えております。今のところ計画になります。

続きまして、27ページのほうの公民館運営事業につきましては、例年どおり同じような形で、今年度は20の講座を開催して進めていくような形になります。

説明のほうは以上でございます。

事務局

続きまして、スポーツ振興課の概要をご説明いたします。

ページは飛びまして29ページをご覧ください。

4番の事務事業内容につきましては幾つか抜粋させていただきます。

一番下の北関東中学校野球大会、こちら今年で第75回を迎えますが、7月下旬の開催を予定しております。今後実行委員会の中で詳細を決めて決定してまいります。

続きまして、30ページをご覧ください。

こちらにつきましては、中学校各種球技大会の開催事業でございます。ソフトテニス大会が今週の土曜、日曜日、男子のほうは4月27日、女子が4月28日に開催いたします。②の卓球大会は11月9日、③番の男子バレーボールは12月14日、④の女子バレーボール大会は11月30日に開催を予定しております。

スポーツ大会開催事業につきましては、結城市スポーツレクリエーション祭や結城シルクカップロードレース大会がございまして、今年は結城市制70周年記念ということで、こちらの冠を使用した上で盛り上げていきたいと考えております。

その2つ下、鹿窪運動公園施設管理運営事業では、結城市文化スポーツ振興事業団へ令和8年の3月まで指定管理を委託してございます。

簡単ではございますが、スポーツ振興課の概要とさせていただきます。

事務局
教育長

以上、ご報告させていただきます。よろしく願いいたします。

ありがとうございました。よろしいですか。

(発言する者なし)

教育長

では、続きまして報告第3号 結城南中学校区新設小学校建設基本設計に

事務局

ついて、事務局から説明をお願いします。

報告第3号 結城南中学校区新設小学校建設基本設計について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

令和6年4月24日提出、結城市教育委員会教育長、黒田光浩。

それでは、お手元のA3判カラー判の資料をご覧ください。

初めに、結城南中学校区新設小学校の設計業務につきましては、令和4年度に作成いたしました基本構想、基本計画を基に5年度、6年度の2か年で基本設計実施設計業務委託を株式会社桂設計に発注しているところがございます。今回は5年度分となります基本設計がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

それでは、お手元の資料をご覧ください。

まず表紙、こちらが最初にイラストなんですけれども、完成のイメージ図となっております。

1ページめくってください。

次のページが目次となっております、本基本設計の構成について書かせていただいております。

もう1枚めくっていただきまして、右下のページ番号、計画-01をご覧ください。

こちらには設計方針や計画概要として、設計方針につきましては、基本構想で位置づけましたふるさと学習の推進や英語活動と英語科の充実、ICT・プログラミング教育の推進について、また施策の基本方針では、①として、安全で快適な学校生活環境の創出などを含めた5つの方針を採択にしております。

ページの右側の計画概要につきましては、施設の規模や事業計画のスケジュール等について定めさせていただいております。

続きまして、計画-02ページをご覧ください。

こちらには敷地の概要として新設校の立地条件についてまとめさせていただいております。

続きまして、計画-03ページをご覧ください。

こちらは敷地の現況ということで、現在の結城南中学校の姿と写真などをまとめさせていただいております。

続きまして、計画-04ページをご覧ください。

こちらは、都市計画をはじめとした関連計画等の整合性について進めさせていただいております。それぞれの計画で定めた指定状況などをまとめさせていただいております。

続きまして、計画-05ページをご覧ください。

こちらが配置計画でございます。これまでの検討段階を踏まえまして、新しい学校の校舎につきましては、現在の中学校のグラウンドの西側ですね、こちらに建設を進めさせていただく予定でございます。現在当該位置エリアにありますプールの解体工事をさせていただいております。そして、

バスロータリーのところにテニスコートがございますが、こちらは中学校正門にあるテニスコートと一体化させていただくということで、今年度工事のほうをさせていただく予定となっております。

続きまして、計画－０６ページをご覧ください。

こちらが現在の平面計画でございます。

基本的な考え方につきましては、左肩に考え方をまとめさせていただいております。おおよそ８，５００平米の２階建ての建物となる予定でございます。

続きまして、計画－０７ページをご覧ください。

こちらが立面計画となっております。新しい学校の立面図を東西南北の切り口でまとめさせていただいております。

続きまして、計画－０８ページをご覧ください。

こちらは、仕上げの概要として今後内装、外装の仕上げをこのように行っていくというような計画となっております。

内部につきましては、右側のページにあるように、木質化というものを取り入れて、もっと和みある空間をつくっていければというふうに考えてございます。

最後、計画－０９ページをご覧ください。

これは先ほどの図面と一部重複しますが、外構についての平面図となっております。

こちらが基本設計の内容となっております。こちらにつきましては、先ほど見ていただきました校舎の平面立面、そして外構、この部分まで含めて約４９億から５０億円の試算を昨年度末にご報告をさせていただいております。

そして、現在進めておりますプールの解体や今後進めるテニスコート等々の環境整備工事まで含めると約５３億円というような概算費用となっております。

今年度につきましては、昨年度市議会のほうからこういった事業費等に関する附帯決議というものをいただいております。主に金額に関すること、開校時期に関することについて市議会のご意見を頂戴しておりますので、現在こちらについて検討を進め、内容を取りまとめているところでございます。事務局といたしましては、５月に再度市議会への説明会等を行ってまいりたいと思っております。

ちょっと急ぎ足で申し訳ありませんが、報告については以上でございます。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

何か質問ございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

教育長

また何かありましたら事務局のほうにご連絡いただければと思います。ありがとうございました。

では、報告第3号については、これで終了させていただきます。ありがとうございました。

では、その他について何かございましたらお願いします。

まず事務局からお願いします。

事務局

事務局から今後の予定についてご説明させていただきます。

今後の定例会の予定ですが、5月につきましては、5月27日月曜日1時半から大会議室1で予定をさせていただいております。

6月については、6月25日に予定をさせていただきますので、日程調整のほどお願いいたします。

あわせて教育委員の皆様にご出席いただきたい会議の日程なんですけれども、先ほど教育長の報告からもございましたように、5月24日に県の教育委員の連絡会の定例総会ということで予定がされております。こちらにつきましては既に出席のほうをご報告いただいておりますので、皆さんご参加ということでよろしくをお願いいたします。

その後5月31日に関東甲信越静の総会がございます。こちらすみません、メールで大変失礼させていただいたんですけれども、内容についてはお送りさせていただいたとおりでございます。定例会終了後にご出席についてご報告いただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

最後に、今年度も学校の計画訪問の日程を組ませていただければと考えてございます。こちらは本日スケジュール案がないんですけれども、でき次第またメール等でご案内させていただきますので、ご協力のほうよろしくをお願いいたします。

学校教育課からは以上でございます。

教育長

ありがとうございました。

そのほか何かご連絡ありますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

教育長

ではないようですので、以上で教育委員会4月定例会を終了します。お疲れさまでした。

午後3時50分 閉会

上議事録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

結城市教育委員会教育長

結城市教育委員会委員